

# 高松宮妃癌研究基金 第29回 国際講演会 (埼玉講演会)

## Nuclear Receptors and Cancer

by Dr. Jan-Åke Gustafsson

*Professor, Karolinska Institutet, Sweden*

*Robert A. Welch Professor, Department of Biology and Biochemistry and  
Director, Center for Nuclear Receptors and Cell Signaling  
University of Houston, U.S.A.*

グスタフソン博士は、ステロイドホルモン受容体（核内受容体）研究の牽引車として、30年以上にわたり世界をリードしてきた。博士は、核内受容体の一種である糖質コルチコイド受容体（GR）の部分精製に世界で初めて成功し、GRがリガンド結合領域、DNA結合領域、免疫原性領域の3つの機能ドメインで構成されることを解明した。GRが、遺伝子のプロモーター領域に存在する特異的DNA配列を認識し結合することにより、特定の標的遺伝子の転写を活性化することを明らかにした。また、NMR解析により、核内受容体のDNA結合ドメインと標的配列との結合様式を示した。さらに、脂肪酸がある種の核内受容体の生理的なりガンドとなることや、第2のエストロゲン受容体（ER）としてERβを同定し、ERαとERβの拮抗的作用のバランスによりエストロゲンの生物活性が規定されるという新たな理論的枠組みを提唱した。最近では、ERβを標的とした治療薬開発にも精力的に取り組んでいる。

2009年7月29日（水）16:00–17:30

埼玉医科大学ゲノム医学研究センター6階会議室

（埼玉医科大学日高キャンパス内・埼玉県日高市山根1397-1）

連絡先 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター

名誉所長 村松 正實 TEL: 042-984-0447 FAX: 042-984-0447

財団法人 高松宮妃癌研究基金